



# Libvirt for LDoms 1.0.1 リリースノート

---

Sun Microsystems, Inc.  
[www.sun.com](http://www.sun.com)

Part No. 820-4114-10  
2007 年 12 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Java, docs.sun.com, Sun BluePrints, OpenBoot, OpenSolaris, JumpStart は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社のサービスマーク、商標、もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Adobe PostScript のロゴは、Adobe Systems, Incorporated の商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

このマニュアルに記載されている製品および情報は、米国の輸出規制法に従うものであり、その他の国の輸出または輸入に関する法律が適用される場合もあります。核、ミサイル、化学生物兵器、または核の海上での最終使用あるいは最終使用者は、直接的または間接的にかかわらず厳重に禁止されています。米国の通商禁止対象国、または拒否された人物および特別認定国リストにかぎらず、米国の輸出禁止リストに指定されている実体への輸出または再輸出は、厳重に禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: *Libvirt for LDOMs 1.0.1 Release Notes*

Part No: 820-3839-10

Revision A



Please  
Recycle



Adobe PostScript

# 目次

---

サポート情報	1
コミュニティでのディスカッションとサポート	1
LDoms のゲストドメインでサポートされる OS	1
LDoms ソフトウェアは準仮想化のみをサポート	2
一般的な問題	2
virsh および virt-install を実行するにはスーパーユーザーでなければならない	2
メモリー不足エラー	2
MAC アドレスの書式	3
libxml2.py ファイルでのインデント設定エラー	3



# Libvirt for LDoms 1.0.1 リリース ノート

---

本書には、今回のリリースの Libvirt for LDoms 1.0.1 ソフトウェアに関するサポート情報と一般的な問題が掲載されています。

---

## サポート情報

### コミュニティでのディスカッションとサポート

このソフトウェアのダウンロードが正常に終了したら、このコミュニティでのディスカッションに参加して、コミュニティベースのサポート情報を入手してください。コミュニティベースのサポート情報を入手するには、次の URL の OpenSolaris™ コミュニティサイト「Logical Domains」にアクセスします。

<http://opensolaris.org/os/community/ldoms/>

### LDoms のゲストドメインでサポートされる OS

Logical Domains ソフトウェアでは、sun4v プラットフォームと、ハイパーバイザによって提供される仮想デバイスを認識するオペレーティングシステムがゲストドメインで動作している必要があります。現在は、パッチを適用済みの Solaris 10 11/06 以上の OS である必要があります。詳細は、『Logical Domains (LDoms) 1.0.1 リリースノート』を参照してください。

virt-install スクリプトについては、Solaris OS のインストールのみがサポートされており、テスト済みです。LDoms ゲストドメインでは、最新の Ubuntu Linux ディストリビューションを実行する場合があります。ただし、virt-install スクリプトを使用した Linux のインストールはテストされていません。

## LDoms ソフトウェアは準仮想化のみをサポート

Sun の仮想化と管理の積集合である xVM テクノロジは、2 つのレベルの仮想化をサポートしています。1 つめのレベルは準仮想化で、オペレーティングシステムは xVM ソフトウェアの下で動作していることを認識しています。2 つめのレベルは完全仮想化で、ゲストオペレーティングシステムは xVM ソフトウェアの下で動作していることを認識していません。

xVM ソフトウェアとは異なり、LDoms ソフトウェアは準仮想化モードでのみ動作します。このため、virt-install スクリプトに対して -p (--paravirt) オプションを指定しなくても、LDoms のゲストは準仮想化されます。

---

## 一般的な問題

### virsh および virt-install を実行するには スーパーユーザーでなければならない

仮想シェル (virsh) コマンドおよび virt-install スクリプトを実行するには、スーパーユーザーの権限が必要です。

### メモリー不足エラー

virsh(1M) setmem コマンドを使用してドメインのメモリー割り当てを変更する場合は、メモリー容量に 4000K バイトより大きい値を指定してください。4000K バイトより大きい値を指定しないと、次のメッセージが表示されます。

```
libvir: Domain error domain: invalid argument in virDomainSetMemory
```

回復方法: メモリーを 4000K バイトより大きい値に増やしてください。

## MAC アドレスの書式

virt-install スクリプトに対して `-m (--mac)` オプションを使用すると、ゲストドメインの仮想ネットワークデバイスに固定の MAC アドレスを指定できます。MAC アドレスは、次のような書式で指定してください。

```
00:14:4F:FC:00:00
```

MAC アドレスを次の書式で指定すると、無効な MAC アドレスのエラーが生成されます。

```
00-14-4F-FC-00-00
```

Logical Domains ソフトウェアでの MAC アドレスの使用方法については、『Logical Domains (LDoms) 1.0.1 管理ガイド』を参照してください。

## libxml2.py ファイルでのインデント設定エラー

virt-install スクリプトで使用する libxml2.py ファイルによって、次のインデント設定エラーが表示される場合があります。

```
# virt-install --connect=ldoms:///default
Traceback (most recent call last):
  File "/usr/sbin/virt-install", line 24, in ?
    import libxml2
  File "/usr/lib/python2.4/vendor-packages/libxml2.py", line 215
    pass
    ^
TabError: inconsistent use of tabs and spaces in indentation
```

インデント設定エラーが表示された場合は、次のファイルの 215 行めで、タブではなくスペースを使用するように編集してください。

```
/usr/lib/python2.4/vendor-packages/libxml2.py
```

libxml2.py ファイルは、virt-install コードの一部ではありません。

